

平成19年1月12日

平成19年関東合同賀詞交歓会を開催

大陽日酸株式会社（社長：松枝寛祐）では、1月11日にウェスティンホテル東京（東京：目黒）において平成19年賀詞交歓会を開催し、特約店をはじめとする取引先ならびに弊社役員など、約550名が出席しました。会場での松枝社長の年頭挨拶の要旨をご紹介します。

記

松枝社長 年頭の挨拶（要旨）

皆さん、明けましておめでとうございます。

新しい年を希望と期待、新たな決意を持ってお迎えになったことと共に慶んでおります。

昨年は社会、政治で色々な変化がありましたが、経済的には国内の状況も「いざなぎ景気」を超える長い息の景気回復あるいは成長であるといわれております。しかし、いざなぎ景気当時は、5年間で日本の経済は約2.3倍にもなりましたが今回は、大体4%くらいの成長にしかになっておりません。とはいえ、いずれにしましてもこの5年間は成長が続いており、経済界にとっては大変嬉しいことであります。

さて、弊社の業績につきましては、この3月期には連結で売上高4400億円、経常利益345億円、当期利益で185億円という我々にとっても大変大きな数字が達成できる目処がつきましたので本当にお取引先の皆様のお陰と改めて感謝申し上げます。

今年の景況については、日本経済に影響を及ぼす米国、中国、欧州の経済状況は様々な要因はありますが、いずれも堅調に推移するのではなかろうかと予想されますので、それらに支えられて日本の景気も、昨年並みではないかと思っております。そうした中で、今年は私どもが売上高5000億円の企業になることを目標とした「グローバル5000 第1次中期経営計画」の2年目ということで、さらに決意を新たに頑張っていきたいと思っております。

ところで、現在、事業活動を行なう上で最重要課題に挙げられるのが環境問題への対応力です。弊社の場合、ガスの輸送にかかるエネルギーの削減や、製造にかかるエネルギーを如何に抑えていくか、あるいはそのものを如何に効率化していくかが非常に大きな課題です。また、コンプライアンスの問題は一つ間違えれば大きな事故、あるいは企業の存続を脅かす事態を招きかねませんので、今後とも無事故・無災害、そして安全というものは常に私どもの提供する製品と不可分であり、コストに含まれているものだという認識のもと、色々な目標を達成していく所存でございます。

特約店会「メジャークラブ」の皆様をはじめお取引先の方々と共に、是非、今年も良い年にしたいと考えております。本日もご参会の皆様方の会社の益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして私からの新年のご挨拶とさせていただきます。

以上



挨拶する松枝社長

本件に関するお問い合わせ先

大陽日酸株式会社

東京都品川区小山1-3-26 東洋 Bldg.

経営企画・総務本部広報部 高橋・田島

TEL : 03-5788-8015